タガワ ヒロユキ　　TAGAWA Hiroyuki

# 田川 寛之

所属 福島学院大学 マネジメント学部 地域マネジメント学科

職名 助教

| | |
|---|---|
| **所属担当授業科目** | ローカル・ガバナンス論 |
| | 復興と政治 |
| | 東北地域論 |
| | 政策分析論 |
| | 福島と復興 |
| | 被災地学習 |
| | 基礎ゼミナール |
| **専門分野** | 政治学、政治過程論、現代日本政治、利益集団・利益団体、市民社会 |
| **学歴・職歴<br>学位・称号<br>免許・資格等** | 筑波大学大学院人文社会科学研究科国際日本研究専攻単位取得退学<br>筑波大学人文社会系特任研究員（国際日本研究学位プログラム）<br>筑波大学人文社会系非常勤研究員（東日本大震災学術調査「政治・政策」班）修士（政治学） |
| **主な研究業績** | 「決めることができるのは誰か？：ALPS 処理水海洋放出をめぐる政治意識調査と政治過程」（河村和徳編著『東日本大震災からの復興過程と住民意識：民主制下における復旧・復興の課題』木鐸社、pp.184-214）、令和 3 年、分担著。 |
| | 「つくば市にみる都市ガバナンスの条件：保守優位と市民社会の変化？」（辻中豊・山本英弘編著『現代市民社会叢書 5　現代日本の比較都市ガバナンス・市民社会』木鐸社、pp.131-164）、令和 3 年、分担著。 |
| | 'Corporate Influence and the Fukushima Daiichi Nuclear Accident: How Has TEPCO Survived?'（Keiichi Tsunekawa ed., *Five Years After: Assessing Japan's Response to the Earthquake, Tsunami, and the Nuclear Disaster*, 東京大学出版会 pp.81-112.）、平成 28 年、分担著。 |
| | 「事故調査の政治空間――福島原発事故をめぐる2つの事故調」（辻中豊編著『大震災に学ぶ社会科学 第1巻 政治過程と政策』東洋経済新報社、pp.135-157）、平成 28 年、分担著。 |
| | 「震災発生後の東京電力と政治」（辻中豊編著『大震災に学ぶ社会科学 第1巻 政治過程と政策』東洋経済新報社、pp.203-229）、平成 28 年、分担著。 |
| | 「何が公的決定され、何が公的決定されなかったか」（辻中豊編著『大震災に学ぶ社会科学第1巻政治過程と政策』東洋経済新報社、pp343-361）、」平成 28 年、共著。 |
| **社会的業績等** | 「わかりやすいプロジェクト国会事故調編」活動参画　平成 25 年-平成 28 年。 |
| | DDPI 一般公開連続セミナー運営支援（筑波大学プレ戦略イニシアティブ「格差・不平等の政策的解決に向けた実証社会科学研究拠点」事業）令和 3 年-現在。 |

| | |
|---|---|
| | 日本公共政策学会 2023 年度研究大会開催協力校事務局（令和5年） |
| **所属学会** | 日本公共政策学会 |
| | 日本政治学会 |
| | NPO 学会 |
| | 都市社会学会 |
| **オフィス・アワー** | 火曜日　16：00～17：00（必ずアポイントをお取りください） |